

人権尊重都市宣言 について

松井美津子 議員



松井 ハンセン病啓発講演会「しがまっご溶けた」に参加し、桜井さんの過酷な環境の中でもまっすくな心で人生を乗り越えられ生き方に圧倒されましたが、アンケートの市民の集約された声と今後の啓発について。



対効果が出ていますか。

総務課長 メンタルヘルス、人事評価制度、市政、人権教育研修等は費用対効果はでている。

松井 住基カードの多目的利用で「便利、簡単、安心なコンビニ証明交付サービス」に取り組んでいます。

市民課長 国において、「マイナンバー制度」が検討されているので現在多目的利用は考えていない。

松井 全国的に増える空き家に対して条例の制定も含めて本市の現状と、空き家バンクについて。

総務部長 本市では、2,140戸の空き家が存在し、1戸建てが620戸ある。条例制定を検討する。

商工振興課長 空き家バンクが空き家対策の効果的な手段の一つになるので導入に向けて検討していく。

松井 生活保護のキャリアサポートについて。

福祉課長 就労支援員を設置し、生活保護受給者の自立助長に向けて取り組んでいる。

人権啓発教育課長 「自分の良心に嘘をつかない生き方をしたい」「人の心の弱さ、醜さを思い起こした」「自分の心にある差別の心を問う必要を感じた」など、素直な感動と素敵な講演会があり、今後、DVDの貸し出しや、出前講座等での啓発に努め、参加の方法も工夫したい。

松井 市民サービスについて職員は市民全体の奉仕者であるが、市民のパートナーとして、質の高い職員を目指すための職員研修事業は、費用

囲碁を小中学校の部活に取り入れたらどうか？

後藤修一 議員



後藤 小中学校の部活の目的は。

指導主事 スポーツ、運動や文化に興味を持った児童が同じ目的を共有し、心技体を磨き、心身共、健全な人格を形成すること。

後藤 部活の体験が将来児童たちに与える影響は。

指導主事 部活動で学んだ挨拶や礼儀、そして忍耐力や連帯感により将来豊かな人間関係を築いてくれる。

後藤 囲碁を部活に取り入れたらどうかという提案です。囲碁は日本では今から千三百年ほど前、奈良時代くらいにも合志が生じたところ遣唐使として活躍した吉備真備が中国から伝えたといわれています。また、平安時代には、貴族のたしなみとして好まれ、枕草子、源氏物語ではしばしば囲碁の描写が出てまいります。江戸時代には將軍自らの御前でお城碁が打たれました。囲碁とは武道と同じく礼に始まり礼で終わる素晴らしいゲームです。そして老若男女問わず誰でも碁が打て、お金もかかりません。さらに最大の効果は集中力が

養われ、考える力が身に付くと言われていると思います。文化的で情操教育にも役に立つ囲碁をぜひ部活に取り入れていただきたい。

教育長 地域の方で囲碁の得意な方に協力をいただき、学校の教育の中にボランティアとして活用できるのではないかと考えています。

後藤 囲碁は右脳が鍛えられ、きれいなものをきれいだと感じたり、人にやさしくできたり、ひらめき力がアップします。さらに、相手を思いやる気持ちが出てくると言われております。囲碁を始めれば、いじめがなくなるかもしれません。ぜひ囲碁を学校の部活に取り入れて下さい。



道路ネットワークに ソフト面でビジョンを

上田 欣也 議員



上田 合志市重点区域間利用計画書によると「公共交通でつながった階層型多極集中拠点による都市構造」として徒歩または自転車を使って、またバス網によって便利に移動できるようにするとあるが、その元になる道路ネットワークについて具体性がない。

市長 道路計画は企業誘致や新しい団地を作るなど、併せて提案すべきものであるが、道路をいたずらに作るほど、今財政に余裕はない。

上田 集中豪雨等で急激に冠水する地域の把握と総合的な対策は。



住宅開発と交差点改良

建設課長 実態に合わせて、上下水道課、県その他関係機関と協議し、調整池設置など全体的な雨水計画を作るよう努力したい。

上田 包括協定先の大学の先生から

雨水排水対策などの提案を引き出してもらいたい。次に新しい学校給食センターはオール電化であるが、太陽光発電設備を導入することで電気を節約すべきではないか。

教育部長 設計段階と状況が変わり、既に導入を検討している。

上田 エコエネルギーの導入に関する事業プランを公募したり、包括協定の大学などによる社会実験のテーマとして意見を聞くことも考えてはどうか。次に、学校では食育に関する計画は作成されているか。

教育部長 年度当初の学校経営案の中で食に関する指導計画も盛り込んでいる。

上田 熊本県健康食生活・食育推進計画は各市町村にそれぞれ計画策定を求めている。「健康都市こうし」を掲げる以上、健康づくりや地産地消などを始め全庁横断的なプロジェクトとして取り組むべきではないか。

健康づくり推進課長 25年度に食育推進計画も盛り込む形で健康増進計画を策定する予定である。

信頼と安全の 合志市

尾方洋直 議員



合志職員の飲酒運転撲滅対策

尾方 この1年合志市以外の各地域で公務員が飲酒運転に因る重大な人身事故が発生している。職場や家庭等で日常的に互いに認識する事が何より大事である。役所の幹部、教育者に依って事故が繰り返される。市職員に対しての指導内容を問う。

総務課長 市役所では事あるごとに綱紀粛正や注意喚起を行っています。具体的には深酒しない、午後10時過ぎたら飲酒をやめることを職員に指導しています。

市長 痛ましい事故が無いよう365日常に注意が必要であり全庁舎に抜き打ち検査用のアルコール検知器を配置し、検知した場合、即刻処分します。



アルコール検知器

尾方 5つめ問題の対応について
合志市内の小中学校児童がア

ンケート調査に誰からかじめを受けたと認識していると答えた児童が800人以上(約15%)いるとの結果が出ております。学校現場で子どもに対して授業、そしていじめ解消について問う。

教育審議員 本市でも不登校対策委員会を年3回実施しています。メンバーは校長、担任他、総数20名で組織されいじめ、不登校問題の現状そして具体的な対策を立てた上で解決の為学校、家庭、地域それから関係機関の連携、協力を図りより丁寧な情報交換を行って対策を講じています。

尾方 文科省で全小中学校にコミュニケーションスクール導入を促しています。本市では行っていますか。

教育審議員 本市では地域の方がいるな行事に参加され、学習支援もしていただく、そうしたことで学校の教育活動が充実して子どもたちが本当に学校は楽しいと思って毎日を送ることで問題も少なくなりコミュニケーションスクールは効果があります。